

電制コムテック広報紙

とらい

令和 4 年 年始号

発行

電制コムテック株式会社
広報室〒 067-0051
江別市工業町 8 番地の 13
TEL.(011)380-2101
FAX(011)380-2103
https://www.dencom.co.jp

DENCOM

年頭のご挨拶

代表取締役 田上 寛



新年あけましておめでとうございます。お客様をはじめ関係各所の皆様、社員の皆様それぞれに新たな抱負を持って新年を迎えられたものと思います。2022 年を迎えた弊社は、今年 9 月で創業 45 周年を迎えることとなりました。これも皆様のご支援やご協力、またご指導があってのことであり、深く感謝し心よりお礼申し上げます。

昨年は、コロナ禍で 1 年延期となっていた東京オリンピック・パラリンピックが異例の無観客開催で行われました。会場の大声援が無い中での競技では盛り上がり欠けるのではないかと心配もしていました

が、いざ競技が始まってみると手に汗握る熱い戦いばかりで、テレビの画面越し観戦にも関わらず、コロナ禍の閉塞感を忘れるほどにたくさんの感動と元気をもらいました。

政治面では、安倍政権の後を引き継いだ菅首相が僅か 1 年で退任したため、私たち国民は今後の日本の舵を岸田政権に託して新年を迎えました。新首相に強く望むことは、国内経済低迷脱出の大胆な経済政策を立て、世界を牽引する国内産業の創出環境を早く構築することです。そのための強いリーダーシップ発揮に期待します。

弊社は昨年、事前に発表していた社名変更を 10 月 1 日に実施し、社名を「電制コムテック株式会社」に改めました。社員の皆さんにとっては慣れ親しんだ社名の変更には戸惑いもあったと思いますが、「電制」の二文字から始まる新社名としているので、直ぐに馴染んでいただけたのではないのでしょうか。社名変更にあたってのその目的や理由について

は本紙“とらい”前号でご説明した通りですが、重要なことは、革新的技術によるコミュニケーションテクノロジー社会の到来を踏まえての新社名への変更ということです。弊社は、昭和の時代に電力機器製造を担う企業として社名「株式会社電制」で創業し、その後、電力技術と電子技術を兼ね備えた企業へと徐々に成長し、平成に入ってから電力用通信機器やダムコンなどの大規模システムの開発も行うようになりました。そして令和となった今、新時代に求められるコミュニケーションテクノロジー追求型企業として社名を「電制コムテック株式会社」に改め、新たな技術への挑戦を始めました。

昨年、大変嬉しい賞を頂きましたので、一つご紹介いたします。

新商品として開発し、販売を開始していた弊社の電気式人工喉頭「ユアトーン装着型 WS-1 モデル」が北海道保健福祉部で高い評価をいただき、福祉用具部門での令和 3 年度「北海道福祉のまちづくり賞」受賞

企業として表彰されました。同受賞商品は、喉頭がんなどで声を失った方からの要望に応じて開発した製品であり、音源部を首に装着することで電気式人工喉頭を手を持たずに会話ができる装置としたことが、利便性の面で高く評価をいただきました。お客様目線での商品開発がいかに大切かを今一度考えてみる機会になった気がします。

最後になりますが、本年がお客様をはじめ、関係各所の皆様そして弊社社員の皆様とご家族にとって実り多く健康で幸せな一年となりますよう心から祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。



【表彰の様子】

特集

電制コムテックの新たなコミュニケーションテクノロジー

AI と OCR 技術を活用した電力量計監視記録システムを開発

弊社は昨年、AI と OCR 技術を用いた電力量計監視記録システムを開発いたしました。



【電力量計監視記録システムのネットワークカメラ】

電力量計監視記録システムは、電力量計に設置した定点カメラよりメーター値を撮影し、AI と OCR 技術を用いて、その撮影画像から電力量の数値を読み取り、数値データと撮影画像を Wi-Fi 接続で遠方の管理施設に転送して、閲覧ができるようにした装置です。現地での目視によ

る検針作業が不要となることやデータが自動で帳票へ記録されることから、業務の効率化が図れます。

本製品の特長は 4 つあります。

- ①お客様のニーズに合わせてカスタムが可能。
- ② Wi-Fi 機能や LAN 機能、LED 照明などを搭載しているため、常時照明がない場所でも撮影、データ送信が可能。
- ③メーターごとの設置を想定したコンパクトで低コストな製品を実現。
- ④ Wi-Fi や LTE で送信したデータ類は、自動で月ごとにエクセルソフトなどの帳票へ自動入力。

そのほか、ケースの構造をシンプルな設計にしてスタイリッシュな形にし、設置後の映像確認画面のレイ



【電力量計監視記録システム画面】

アウトもわかりやすく誰でも容易に使用できるように製品のデザインにもこだわりました。

今回はデジタル電力量計とアナログ電力量計 2 種類の読み取り機能を搭載しておりますが、今後は読み取

り可能機種の拡充とともにハイコオリティカメラを搭載した屋外機器監視用カメラとし、Wi-Fi や携帯電話の電波などが届かない場所でも使用できるように広域無線技術 (LoRa 通信) を利用しての遠隔監視可能な製品を開発する予定です。



【電力量計監視記録システム使用例】

クラウド型保守支援装置の開発に向けて

近年、コミュニケーションテクノロジーの発達によって様々な情報通信ツールが使われるようになりました。弊社でもすでにクラウドを使ったシステムの研究開発を進めております。

そのような最中、北海道電力株式会社様から水力発電所用保守支援装置の高度化に向けて、クラウドを活用したデータ収集技術検証の必要性についてお話をいただき、その検証業務を受託いたしました。

本業務は、Microsoft 社のクラウドサービスである Azure を用いた保守支援装置開発の可能性を検証する



【検証の様子】

ものです。

現在、クラウドサービスの最適利用のためのデータ圧縮技術やユーザーインターフェースのあり方など、多岐に渡って検針・検証を進めているところですが、

完了日まで、引き続き保守支援装置の技術高度化に向けて検証を進めてまいります。

DENCOTOPICS

第 35 回ビジネス EXPO に出展しました

11 月 11 日、12 日に、アクセスサッポロで開催された第 35 回ビジネス EXPO に出展いたしました。

今回は社名変更後、初めての出展で、電力量計監視記録システムや IoT センサー、DENCOT ローカルクラウドの先端技術を組み合わせた展示のほかに、昨年発売したルーチェグラス LG2 モデルやユアトーンも展示し、新社名と製品について例



【展示会の様子】

年よりも多くの方にご紹介できました。

今後も皆様に新社名・製品を知っていただけるよう努めてまいります。

作業手記

別海変電所にて

この度、別海変電所の配電用 B バンクの変圧器と 6kV キュービクルの更新、制御保護盤の新設、併せて供給用仮設工事とバンク逆流対策工事も並行で実施いたしました。事前に制御回路の検討や停電作業内容などの作業工程の打ち合わせを綿密に行い、3 つの工事作業を滞りなく進めることができました。

さらに作業の効率化やコスト削減を実現するために従来の試験内容を見直し、試験機材の選定も行ったことで現場での整理整頓が容易になり、作業の効率化にも繋がりました。

最後に、本工事現場である別海町は私の故郷であり、本工事に携われ

たことで生まれ育った町の電力安定供給に微力ながら貢献できたことは、大変感慨深いものであります。

電力技術課 木下 智大



【作業の様子】

編集後記

社名変更後、初めての「とらい」です。今年もよろしくお願いたします。 <広報室>

まもなく、一般発売開始!

LuceGlass®

ウェアラブル型 高照度光照射装置
ルーチェグラス LG2 モデル

詳細が決まり次第、HPにて情報を公開いたします。